

サロンの 登美ヶ丘茶論(23)

2021年11月



モリトモを岸田ノートは黒く塗り

バラまいて票だけとって知らん顔

◆ 日本国憲法公布 75 年によせて

今年は憲法公布（1946年11月3日）から75年です。総選挙の結果、自公、維新の改憲勢力が衆院の3分の2を超える事態となり、あまつさえ国民民主までこの動きに便乗する構えを見せています。今や憲法を守り生かす取り組みが正念場を迎えた、といっても過言ではありません。

そもそも現憲法は侵略戦争への深い反省が原点です。1931年満州「事変」（南満州鉄道爆破を中国軍の仕業と偽る謀略によって満州占領計画の実行へ）から日中全面戦争、アジア太平洋戦争へと15年に亘る日本の侵略戦争の結果、310万人以上の日本人と2000万人を超えるアジアの人々が命を落としました。この未曾有の犠牲と痛苦の反省の上に成立したのが憲法の原点でした。

「日本国憲法前文」には憲法制定の決意を次のように説明しています：

「日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであって、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基づくものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであって、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思う。

われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであって、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従うことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立とうとする各国の責務であると信ずる。

日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓う。」

現憲法の最高原理は、戦争をしないで生きて行こうという平和主義であり、国民主権（主権在民）と基本的人権の尊重の原理は平和主義に発する論理的必然であると理解しています。このことは、戦争有事には権力者にとって国民主権も人権尊重も戦争遂行の邪魔になることは戦前に経験済み。自公・維新の改憲勢力が自衛隊明記による9条空文化とセットで緊急事態条項（＝憲法停止と首相への全権委任システム）を書き込む改憲案を実現したい真意は正にそこにあります。維新松井代表は：「僕は元々自民党の地方議員。大きい方向性、政治理念、そこは自民党とあまり大きな差はない」；維新吉村知事は「何で本気で改憲やらないの？僕たちは、ダイナマイトみたいにボカンと国会でやりたい」と演説しました。むしろ自民のやり方は生ぬるいというのが維新です。（xyzさん）

黒塗りが教えてくれるここ大事

さりげなく看板映すNHK

登美ヶ丘九条の会は毎月世話人会を行っております。色々なことを話し合っております。原則では第4火曜日ですが、来月12月は第3火曜日12月21日(火)13時30分より登美ヶ丘公民館にて行います。どうぞどなたでもお越しください。お待ちしております。（世話人1同）





◆ 市民と野党の共闘の結果をどう見るか

改憲勢力はメディアを大動員して野党共闘反対の大合唱をやっている。この宣伝に「素直に」引っ張られる人も多いらしく、「ためにする」メディアの世論調査にもそれは現れている。

それはともかく、市民と野党の共闘は失敗だったのか？数字を挙げて考えてみよう。

市民と野党の共闘は 214 小選挙区候補者を一本化した。その内 62 小選挙区で野党が勝利した。さらに、勝利できなかったが激戦区だった選挙区での惜敗率をみると、惜敗率 95% 以上（自民当選者と立民次点者の票差が 391 票から 5000 票未満の差）の選挙区が 16 選挙区以上、90% 以上（5000 票～10000 票差）が 33 選挙区、80% 以上が 53 選挙区。[註：惜敗率＝次点者得票数（分子）/ 当選者得票数（分母）、例えば当選者が 100 票で次点者が 90 票ならば、次点者の惜敗率 90/100=90%]。野党共闘はあと一歩のところまで自民に迫っていた。自民は薄氷 1 枚の勝利が続出した。

御厨（みくりや）東大名誉教授は「与党と一対一の構図を作って国民に選んでもらうこと自体は間違っていない、今回衆院選で初めて本格的な共闘が実現し、各党はどこで妥協し、どこで主張するかを学んだはずだ。結果が出なかったといって、共闘をつぶしてはダメだ」、とコメントしている（東京新聞 11/2 付インタビュー）。

自民党総裁選の 1 カ月の長丁場 TV ジャックによる自民党ショー、史上最短期間の選挙戦、戦後 3 番目の低投票率（55.93%；自民絶対得票率 26.4% [常に 25%前後で変動なし]）、政権合意と候補者 1 本化が告示日の数日前まで長引いたこと、加えて野党分断のデマ攻撃（今どき「共産主義か民主主義か」などという幼稚・無知・的外れ・時代錯誤の罵言）等の悪条件の中でよく踏ん張ったと思う。彼らは総選挙後の今も、この種の稚拙な共闘つぶしの攻撃を繰り返しているが、要するにこれは改憲勢力が野党共闘を如何に恐れているかを自白しているにすぎない。何しろ、最近暴露報道されたように、ウソ・デマ情報で野党攻撃する自民党御用達ツイッター-Dappi のような謀略機関が跳梁しているとは呆れたものだ！（「毎日」夕刊 10/20 付青木理さん執筆コラムやTV 朝日「報道ステーション」10/16 参照）。

野党共闘は今回の教訓を噛みしめ捲土重来、来夏参院選で改憲策動を阻止しよう。（mm さん）

奈良蟻の会合唱団コンサート2021『うたごえを生きる力に』
11月6日大盛況のうちに無事終了しました。九条の会の皆様たくさんの方に御来場いただき誠にありがとうございました。最後の曲目、『忘れっぽい人へ』から『時代』涙が出て止まりませんでしたと言う感想をたくさんいただきました。本当にうれしいです。
これからも『うたごえは平和の力』私たちは歌い続けます。(秋山)

登美ヶ丘九条の会専用郵貯口座を来年2022年1月より開設します
皆様からのカンパや寄付をいただくためです。コロナの為長らく『集い』も「話し合い」も出来ない状態が続いておりますが、コロナ第6波の状況を見て来春より行事を活発化したいと思います。茶論21号を見て東登美ヶ丘のSさんより激励とご意見をいただきました。誠にありがとうございました。(世話人一同)



「毎日」の「近事片々」から(ヨリさん)
「看板」掛け替えただけでは、首相肝いりの新しい資本主義、緊急提言。目立つ従来政策の焼き直し。
・維新の会の「補完勢力」にははしまいか。国民民主の玉木代表。連携に意欲。
・グレタさんに続け。日本の高校生、大学生が COP 26 開催の英国へ。若者の胸に、気候変動への強い危機感。
・こちらは、維新勢の催促を前に。首相、改憲巡り、国会論議と国民理解が両輪と強調。熟議の基本をお忘れなく。

「茶論」への御投稿をお待ちしています。どんな話題でも結構です。気軽に御投稿ください。掲載時、投稿者は匿名扱いとします。原稿は以下の世話人ポストへ放り込んでください：石田(松陽台 2-16-4 ☎46-0352)、赤沢(鳥見 2-5-1)、秋山(東登美 4-22-19)、藤田(西登美 4-17-4)、堀江(西登美 1-20-7)、宮田(鶴舞西 2-10-C505)、初谷(中登美 4-1 ローレル I-7-204)、森本(西登美 1-22-21)

登美ヶ丘九条の会



接待はバレリヤ割り勘後払い

「モリカケは再調査せぬ」いう踏み絵

付け足して野党にふれるワイドショー

コムロよりコロナを語れワイドショー

背後霊除霊できない新総理